

りんごだより

草笛学園 2023年 10月号



10月に入り、朝と夜は肌寒い日が続いています。日中との寒暖差も大きくなる季節となりました。体調にはお気をつけてお過ごしください。そして、【食欲の秋】ですね。おいしい食べ物をたくさん食べて体力も蓄えていきましょう！

発達はかけがえのない私を築くこと ～ マイナスをふくむ過程としての発達 ～

人間が発達する過程では、意味を感じ、主体的に自分を変えようとしながらも、簡単には変われず苦しむという時期を必ず経ることになります。保健所の「親子教室」に来ている子どもたちは、出席のシール貼りの時に前に出たがったり、友だちを押ししたりする子が多く、トラブルが頻発しがちです。保育士のすることに意味を感じ、自分もしたいと思うから前に出ていくし、自分の前を遮った子を押ししたりしてしまいます。意味を感じてしようとするからトラブルになり、叱られるという矛盾を抱えるのです。関心がなければトラブルも起きません。順番が来ればできると見通せるようになればトラブルはぐんと減りますが、見通す力量がつかまではトラブルが発生するのです。

4歳児は仲間に目が向くようになるだけでなく、仲間の能力に目が向くようになり、「〇〇くんはすごいなあ、逆上がりができるもん」と友だちにあこがれるようになります。あこがれの友だちと同じようにできることに意味を見出すから主体的に練習しますが、練習してもすぐにはできるようにはなりません。したいけれどうまくできないマイナスの自分とつきあわざるをえないのです。だから気持ちが揺れ、積極的になれず、手持ち無沙汰になって鼻くそをほじくったり、爪を噛んだりといった癖が出やすくなり、マイナスが拡大したように見えるのもこのころです。でも、子どもたちは揺れる心を持ちながらも挑戦し続け、出来るようになっていくのです。

出来もしないのに挑戦するのはなぜ？と問われても子どもは答えられませんが、なぜかわからないけれど意味を感じ、したくなってしまいます。だから挑戦しつづけるのですが、安定して取り組めるようになるにはところが揺れ、マイナスをたくさん出してしまいます。挑戦するから新たなことが出来るようになるのですが、出来るようになるまでには時間がかかります。

「したいけれどできない自分」とつきあいつづけられるのは、大人と自分を信じられるからではないでしょうか。こうしたマイナスをより拡大して出してくるのが、障がいのある子どもや

マイナスに見られがちな特性を持っている子どもたちだから、二重にマイナスが出て、子どもも父母もしんどさが拡大するのです。

マイナスな行動が出たときには、子どもが変わりたがっているのだということをまず理解したいものです。友だちを押し倒したり鼻くそをほじくる姿の中に、自分にいらついている健気なところをくみ取り、子どもの飽くなき挑戦を支える基本に立ち戻ることが求められます。自分と大人を信頼できているでしょうか？マイナスな自分でも大人は愛してくれていることを実感するためには、情けない姿を受けとめられることが求められます。「そんなあなたがかわいい」と朝・晩抱きしめてくれる父母の存在が子どもの安心を保障します。「ダメな自分も愛されている」「ダメなじぶんでもいいのだ」という実感を、私は「自己安定感」と呼んでいます。それだけで子どもは、自分の中のマイナス度をぐんぐんと減らすことができます。

『続 発達の芽をみつめて ～かけがえのない「心のストーリー」～』近藤 直子 著

次のりんご教室

りんご①・全：11月7日（火） 『さんぽ』

持って来るもの

水筒・帽子・リュック

りんご②・全：11月21日（火） 『さんぽ』

持って来るもの

水筒・帽子・リュック

保護者の方も動きやすい
服装でお越しください！

※動きやすい服装でお越しください

『参加される皆様へ』 ～ご協力をお願いします～

- ・お休みされる場合は、学園までご連絡下さい
- ・参加費は無料です。（おたよりはホームページに記載され、通信費が必要ないため）製作やクッキングの活動の時には、材料費として100円いただきます。その都度連絡します
- ・草笛学園遊戯室での活動となります ・靴は下駄箱に入れて下さい
- ・水分補給のため、お茶を用意して下さい（ジュース類は控えて下さい）
- ・きょうだい児の参加はご遠慮下さい。預け先がない場合は事前に職員までご相談下さい
- ・トラブルによるケガ防止のため、参加前に爪を必ず切ってきて下さい

【感染症対策について】（※国の方針に準じて対策を見直しています）

- ・参加者や職員共にマスクの着用は自由とします。但し、クッキングの際やその時々々の感染状をみて着用をお願いする場合があります
- ・原則大人1名・子ども1名の参加をお願いしてきましたが、今後はその限りとはしません。但し、グループによっては参加者が多い場合がありますので、担当職員にご相談下さい
- ・入室前の検温・申告は不要ですが、朝の検温等、引き続き体調管理をお願いします
37.5度以上の発熱がある場合は参加をお控え下さい
- ・園内の換気や消毒は引き続き続けます